

TT 研究会

平成 25 年 11 月 8 日

各利用団体の代表者 様

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立中央青少年交流の家 所長
服 部 英 二

施設内における感染性胃腸炎の発症について(お詫びと報告)

このたび、11月2日(土)から11月4日(月)にかけて、当青少年交流の家をご利用された団体のうち、複数の方々が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈する状況に至り、保健所の調査を受けました。

保健所の調査では、食堂業者のスタッフの健康状況、検便、検食、厨房等内のふき取り調査等からの、細菌・ウイルスは検出されていないことと、共通の食事をしていない人からも発症者がいることから、食中毒によるものではなく、人から人へ感染が広がった「感染性胃腸炎」と判断されています。今回、嘔吐症状が多発していることから感染が一時期に予想以上に広まった可能性があると考えられています。

また、発症された方の中からノロウイルスが検出されていること、症状や発症状況から「感染性胃腸炎」の集団発症ではないかとの報告を受けました。

現在、静岡県御殿場保健所の指導を受け、食堂厨房内やホール、器具類等の洗浄消毒についてはもちろんのこと、施設内の宿泊棟や研修施設、浴室、トイレなど施設設備の消毒の徹底を再度図っているところであります。

今回、発症された方をはじめ、ご利用いただいた皆様には多大なるご迷惑をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。特に、発症された方については、一日も早いご快復を願うものであります。

今後、このようなことのないよう衛生管理に万全を期すとともに、皆様方が安心して当施設をご利用いただけるよう、更に努めていく所存です。

なお、保健所からの要請では、これから冬にかけて様々な感染性の症例が発生しやすい状況があるので、日頃の体調管理や予防措置について、利用団体にも協力を呼びかけ、その徹底を図ってもらいたいと言われております。何卒、こうした趣旨をご理解いただき、今後とも引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

11月 50名
13団体 380名

連絡先
国立中央青少年交流の家
TEL 0550-89-2020
Fax 0550-89-2025
E-mail fujinosato@niye.go.jp

県連TT研究会
ちねん発症 ←